

こ
ん
に
ち
は

し も す わ
町 議 会

で す



♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

令和2年度決算 新方式で審査……………6P・7P



秋のいずみ湖（撮影：金子 憲之）

一目でわかる議決結果

議案名(一部省略)	
同意	人権擁護委員候補者の推薦
承認	【専決処分】令和3年度一般会計補正予算(第5号)
承認	【専決処分】令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)
可決	附帯控訴の提起について
可決	損害賠償の額を定めることについて
可決	令和3年度一般会計補正予算(第6号)
可決	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
可決	令和3年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)
可決	令和3年度一般会計補正予算(第7号)
可決	令和3年度水道事業会計補正予算(第2号)
可決	令和3年度下水道事業会計補正予算(第2号)
認定	令和2年度一般会計歳入歳出決算
認定	令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度温泉事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算
認定	令和2年度東山田財産区会計歳入歳出決算
認定	令和2年度水道事業会計決算
認定	令和2年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算
意見書案名(一部省略)	
可決	生理用品を軽減税率の対象にすることを求める意見書
可決	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書

9月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等(省略)	議決等結果	議員名(議席順)												
		森安夫	樽川信仁	田嶋彰	増沢昌明	林元夫	岩村清司	青木利子	大橋和子	松井節夫	中山透	野沢弘子	中村光良	金井敬子
令和2年度一般会計歳入歳出決算	認定	斜線	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×
令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	斜線	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×

可決・趣旨採択に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

意見書案の審査結果

意見書案第6号

議員提案

生理用品を軽減税率の対象にすることを求める意見書

国へ 全会一致で可決

当議会女性議員の総意として議員提案した意見書案です。

新型コロナウイルス感染症の影響で経済的に困窮した女性が、生理用品の購入を躊躇したり、交換する回数を減らしたりする等の実態が明らかになりました。

昨今、困窮支援の一環で生理用品を無償化あるいは課税対象外とする動きが海外で広がっていま

す。生理用品は贅沢品ではなく、多くの女性が安心して学び、働き、生活し、自己実現するために必要不可欠なものです。ジェンダー平等の視点からも、生理用品の経済的負担の軽減が求められます。

この意見書案は、生理用品を消費税の軽減税率の対象とすることを、政府に求めるものです。

意見書案第7号

議員提案

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書

国へ 全会一致で可決

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの貴重な命が失われました。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた24万1593名の氏名が刻銘されています。糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域には、沖縄戦で犠牲を強いられた沖縄県民や兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の遺骨収集が行われています。さきの大戦

で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋め立てに使用することは人道上許されることではありません。

この意見書案は、戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋め立てに使用しないことと、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に沿って戦没者の遺骨収集を日本政府が主体となって進めることを求めるものです。

議会だよりモニターの目



前号にも、様々なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

❖ わかりにくい言葉に対するの説明をクリップマークでしていただいて、大変助かりました。

→ 編 今後も、難しい用語には解説を付けるなど、わかりやすい紙面づくりを心がけます。

❖ 一般質問の中で、質問者はどの議員さんかはわかるのですが、答えているのがどなたなのかがわかりません。答えた方の役職名がわかると良いと思います。

→ 編 指摘、ありがとうございました。今号から、答弁者の役職名を入れることにしました。

水道・下水道移設予算承認

R142号線の
早期の復旧を願って

総務経済常任委員会

① 町民講演会中止の費用

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月に予定していた町民講演会中止に伴い、講師のキャンセル料73万円の支払いが生じました。動画配信等で行えなかったのか、という質疑に対し、講師と協議したが、

② 駐車場利用減 今後に期待

歳入は約1480万円、歳出は約

できないとの回答がありました。コロナ禍で町側から中止を申し入れたものであり、代替案の交渉の努力も見られ、妥当であるとの討論があり、全会一致で可決しました。

③ 温泉余剰口数解消ならず

1472万円、次年度繰越は約8万円で、前年比減になっています。減収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症による観光客の減少と、イベント中止による使用料の減少です。年末年始の特別営業でも減少しました。また、月極利用も全体の6割となり、今後PRしていく予定です。歳入歳出の差が少なく、将来のアフターコロナに見通しを持って頑張ってほしいとの討論があり、全会一致で認定しました。

⑤ 下水道会計留保財源の研究

た。不足分は前年度繰越利益剰余金と利益積立金で対応し、収支0円としました。漏水管が多く、計画的な交換のため支出が多くなっており、今後使用水量減少により収入が少なくなるので、水道料金の見直し等を検討していきたいとの答弁がありました。配水量減少や配水管整備での単年度赤字は理解するが今後の健全化に努めてほしいとの討論があり、全会一致で認定しました。

⑥ その他の議案として

単年度収支は約3058万円の赤字になっています。本会計は町の一般会計から財源を繰り入れて黒字決算。水道会計は独自採算事業であるので水道・下水道一体で考えることは今後研究が必要との事です。下水道は住民生活に必要でトラブルもなく高く評価するとの討論があり、全会一致で認定しました。

定例会初日に、専決としてお盆の豪雨災害の災害対策費や、最終日にはR142号線の工事に伴う水道・下水道の移設工事費、東俣浄水場の修繕工事費を議決。国や県の補助などを有効的に活用しています。

④ 水道会計にコロナの影響

利用者減少の中でも黒字であり、今後も継続的な運営を期待するとの討論があり、全会一致で認定しました。

年間配水量が人口減や節水器普及による減少に伴い、収支は赤字でし

県内唯一の公的特養老人ホーム

セーフティネットとしての役割を



生活文教常任委員会

① 期待される ハイム天白

特別養護老人ホーム事業特別会計 R3年度補正予算の可決及びR2年度歳入歳出決算認定を全会一致で行いました。

R3年3月末の入所者は、男女別内訳で男性が14人、女性が42人。町内に住居がある方が45人。平均年齢は85才7ヶ月、平均介護度は「3・

94」。入所待機者は75人。R2年度は、居室換気設備工事による環境整備や、コロナ感染予防のための遠隔面会機器の購入等が行われました。

「県内唯一の公的特養で、利用者家族や町民の期待は大きい。職員の努力は大変なものがあると思います。役割を果たしてほしい」との要望を含めた、賛成討論がありました。

② 最終処分場問題で附帯控訴

敦賀市と町で係争中の「事務管理費用償還等請求事件」について、今年3月、町に140万円余りの支払いを命ずる福井地裁判決が下されましたが、敦賀市が不服として控訴。そこで町も控訴審において附帯控訴を提起することとしたものです。

討論では、「自治体間の裁判であり歩み寄りも模索されるなか、一方的に控訴されたことは残念。附帯控訴は致し方ない」との意見があり、全会一致で可決しました。

③ 事務管理費用償還等請求事件

過去に町が一般廃棄物の焼却灰を処理委託していた敦賀市の民間業者が、倒産。福井県が応急対策の代執行を行い、地元の敦賀市にも費用負担を求めましたが、その費用を下諏訪町と、当該処分場に搬入していた他5団体に請求している案件

③ 国保税の未納額6千万円余

R3年度、国保納付金算定における激変緩和措置終了の影響により、不足が生じていた県に支払う納付金に補填を行う補正予算を、全会一致で可決しました。

国民健康保険制度は、H30年度に県が財政経営の責任主体となる広域

化が実施され、町は県に納付金を納める役割分担制度になっています。

R2年度決算では、「コロナの影響で、医療給付費が抑えられて黒字決算でしたが、国保税の未納額が6000万円余、軽減措置を受けている被保険者が全体の5割を超えることは、国保税が高いことの反映では。これ以上の負担増は避けてほしいことを希望した上で賛成」との討論があり、全会一致で認定しました。

④ 交通災害共済加入者減の対策を

交通災害共済への加入者が年々減ってきています。

「町独自の制度で継続を望みますが、会計自体を見直し運用益を出すような方向性を検討できないでしょうか」「残金を基金に積むことを検討できないでしょうか」等の意見が出され、全会一致で認定しました。

⑤ 後期高齢者医療特別会計決算 賛否意見割れ

R2年度決算の認定については、

「県広域の事業であり、町の裁量権はないが、高齢者医療の後退にならないよう希望して賛成」「保険料の引き上げと、保険料の軽減特例の廃止により被保険者の負担増となったことから反対」と賛否両論の意見が出ましたが、挙手多数で認定しました。

大切な税金は、
どこに
使われたの？

コロナで
大変な一年
だったけど……

特別委員会で審査、認定

これまで、当議会では、決算審査は「一般会計」「特別会計」の2つの特別委員会で、また、予算審査は2つの常任委員会で審査してきた経過があります。予算や決算という一つの議案を、分割してそれぞれの委員会へ付託してきたのです。この方法は、「議案は一体不可分のもので、これを分割して扱うことはできないとする原則」に反するものでした。委員会において修正案提出が出来にく

い、委員会での採決結果が異なる場合の対応方法が不明等の課題も含んでおり、議会改革の取り組みの一つとして、この間議論を進めてきました。

今回の決算審査から予算決算審査特別委員会を設置し、分科会審査を経て特別委員会で一括審議をすることとしました。今回の審査を総括し、さらに改善を図って参ります。

道路維持補修事業費

約13億9370万円

そのうち道路維持小規模補修工事費が約2997万円で、112件のうち区からの要望100件（町管理施設は64件）。道路段差解消、舗装、側溝の蓋修繕等に対応済み。残りは国、県と協議しています。



町道湖岸通り線等街路灯整備工事費

約5635万円



四ツ角ポケットパーク整備事業費 1831万円

四ツ角駐車場トイレ整備事業費 3449万円

御田町用地購入・整備事業費 1071万円

四ツ角駐車場の改修により、大型バス等の進入路の確保が出来るようになり、観光拠点として大いに期待されます。

緊急経済対策費

総額1億1424万円

コロナ対策として、しもすわテイクアウト応援キャンペーン691万円、プレミアム付商品券販売事業8793万円、商工会議所コロナウイルス地域経済対策支援事業補助金590万円他。国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等を受け、コロナ禍での経済喚起が図られました。

一般会計補正予算審査も、9月定例会から予算決算審査特別委員会により審査が行われることになりました。

- ①ものづくり支援センターの実施する「新型コロナウイルス感染症予防対策支援事業」に対する補助金など約1742万円の補正
- ②8月の大雨被害を受けた各所の復旧費、コロナで最も影響を受けている飲食店を応援する第5弾キャンペーンの委託料など、計1億1700万円の補正

上記の補正予算を、全会一致で可決しました。

令和2年度一般会計決算

今議会より予算決算審査



健康スポーツ施設整備事業 約2億4000万円

「健康スポーツゾーン構想」の総仕上げとして、諏訪湖畔に、健康ステーション、健康フィールド、フットサルコートが整備されました。



児童・生徒一人に一台のタブレット配備 約8700万円

国のGIGAスクール構想に沿い、小中学校のコンピューター教育実施に向けた環境整備が進められました。児童・生徒に一台ずつのタブレット配備や、使用のための環境整備が行われました。

個人番号関連事業 約1150万円

マイナンバーカード普及が進められ、町のカード普及率は36.0%になりました（全国平均はほぼ同率、県平均は31.7%）。

事業に関わる財源は、ほぼ国からの交付金です。

R2年度一般会計決算認定に対する討論

- 反対**
- 健康スポーツ施設整備に多額がかけられたが、町民の理解が得られたかは疑問。
 - 個人情報保護や利用範囲の拡大に対して、不安や不信感が払拭できない中で、その経費はほぼ国の交付金によるものとはいえ、マイナンバーカード普及に手間がかけられたことは、納得しかねる。
 - コロナ対策に、財政確保も含めて、町独自策がもっと必要だったのでは。
- 賛成**
- 補正予算を何度も積み上げ、難題のコロナ対策に取り組み、苦難を強いられた町民、事業者、町外に住む学生への支援に寄与された。
 - 防災資機材やシステム整備が進められ、防災力向上が図られた。
 - ふるさとまちづくり寄附金約2060万円は、日頃の苦勞の積み重ねと評価する。
 - マイナンバーカードの健康保険証としての運用開始に向け、出張申請サポートを行うなど、更なるカード普及に努められた。

採決の結果、賛成多数で、認定しました。

耐震改修促進計画の
進捗状況は

計画的な改修で
安全を確保

建設水道課長



野沢 弘子



1978国体漕艇 県選抜優勝
思い出の「鎌成の家」

総務課長 「地域活動支援センター」は、障がい者福祉の拠点・災害時の障がい

問 耐震化が必要な町有施設2ヶ所の、今後の計画は。

建設水道課長 人家近くで、ピンクカー泊を有料施設に。

問 みずべ公園でのキャンピングに可能なする予定。

総務課長 来年度中に計27種類の手続きを、オンラインで可能にする予定。

問 「マイナポータル」の取組みは。

問 公会所整備補助拡大は。者支援拠点として、改修を検討。「鎌成の家」は廃止の方向。

問 当町の水は美味しいと

住民環境課長 ガイドラインで規制中。庁内再生可能エネルギー専門部会で、条

問 太陽光発電の規制は。

問 「ふるさと納税」の利

問 「ふるさと納税」返礼品に赤砂崎車中泊滞在券を。

町長 様々いたいただく町皆さんの声を反映させている。

建設水道課長 警察と連携。

問 6月に八街市で小学生5人死傷の通学路飲酒事故。安全対策と飲酒運転根絶を。

建設水道課長 8水源全て水質検査を実施。県の「豊かな水資源保全に関する条例」で「汁垂水源」を保全。

実感している。安全安心な水源の保全の取り組みは。

私たちは問いかけ提案する
一般質問



下諏訪町議会のホームページから一般質問の詳細や録画を見ることができます。パソコンやスマートフォンから、いつでもご覧いただけます。



9月定例会では、12人が一般質問を行いました。

8 p 野沢 弘子
「耐震改修促進計画の進捗状況は」

9 p 林 元夫
「随意契約のガイドラインの導入を」

田嶋 彰
「通学路の安全対策の町の考えは」

10 p 岩村 清司
「2市1町合併を進める気持ちはあるか」

松井 節夫
「下屋敷の町道路面陥没の状況は」

11 p 青木 利子
「障がい者福祉推進宣言を広域で」

中村 光良
「黒曜石への取組みで長和町と連携を」

12 p 樽川 信仁
「諏訪湖環境の改善についての対策は」

金井 敬子
「バリアフリーのまちづくり 現状と課題は」

13 p 増沢 昌明
「核兵器禁止条約参加についての見解は」

中山 透
「町の配信メールに込めた町長の思いは」

14 p 大橋 和子
「情報教育の功罪は」

通学路の安全対策の町の考えは



田嶋 彰

地域の実情を踏まえて推進

町長

随意契約のガイドラインの導入を



林 元夫

諏訪広域的取組みも必要

町長

安心・安全の町づくり

問 通学路のブロック塀等の危険箇所の把握は。

教育こども課長 県・警察・PTA等で毎年合同点検。

ブロック塀はH30年度に点検し45箇所、道路は32箇所把握している。

問 危険箇所への対応は。

教育こども課長 広報紙やHP等で補助事業をお知らせ。児童・生徒には身を守る行動を取るよう指導。

建設水道課長 道路対策は、

問 随意契約における基本的な町の姿勢と考え方は。また、1000万円以上の随意契約件数と入札制度にやらない理由は。

総務課長 契約の基本原則は競争入札による。随意契約は例外的な方法。H30年19件、R元年17件、R2年度は30件であったが、技術の特殊性、緊急性を客観的、総合的に判断して契約。

問 住民監査請求に対する監査委員の意見書にある、随意契約におけるガイドラ

インの導入についての町の考え方は。

町長 諏訪地域は商圏が重複しており、広域にまたがる契約案件がある。6市町村での調整も必要。自治法を根拠に契約しており、随意契約でも透明性・経済性に配慮している。

問 再度問う。ガイドラインを導入する考えは。

町長 自治法に規定されていることに従うだけ。

道路ビジョンは

町管理では24箇所のうち18箇所は対応済、残る8箇所は計画的に順次対応する。

問 町のブロック塀等除去工事補助の利用状況は。

産業振興課長 H30年度より補助対応。現在までに総計26件、約477万円の補助を行った。

健康な町づくり

問 スケートボードを行える施設を赤砂崎公園に。

建設水道課長 ニーズを確認しながら研究を行う。

問 諏訪バイパスに対する意見の内容は。

建設水道課長 出された意見は、263通。推進意見、環境に対する不安からの調査による対応や必要性の疑問などがあつた。

問 環境に配慮した道路づくりが求められている。バイパスを含めた町の道路ビジョンは。

町長 車優先から歩行者の安全優先や、まち歩き観光促進という点からも、道路の検討が必要。住民と一緒

問 オリன்பック事前合宿事業に伴う町民の声は。

教育こども課長 受け入れ表明当初は厳しい意見もあったが、合宿中は好意的な声が多かった。合宿後は特段届いていない。

問 オリன்பック事前合宿後のAQUA未来の活用は。

教育こども課長 オリன்பック選手団より「すばらしい施設」と評価された。アルゼンチンはカヌーでも利用したので、今後はボート以外での活用も模索する。

に考えたい。将来の下諏訪を考えると、主要道路を使って車の流れをどう作るかは大きなテーマで、その骨格になるのがバイパスだと考える。



国道20号諏訪バイパス展



各国選手団



問 事前合宿国のイタリア、アルゼンチンとの交流は。

教育こども課長 イタリア、アルゼンチンとは、一過性のものにならないよう、継続的な交流を考えている。

下屋敷の町道路面
陥没の状況は

護岸の基礎部が
洗掘された

建設水道課長



松井 節夫

2市1町合併を
進める気持ちはあるか

今は進める
気持ちはない

町長



岩村 清司

建設水道課長 R142号線の古い石積が崩れて塞がり、貯まった水が道路の盛り

R142号線道路陥没現場
水道管も露出



問 R142号線の路面陥没原因の町や県の分析は。

問 「信州あいさつ運動」の

進める気持ちはない。今は進める気持ちはない。今上がる状況にはなく、今は進める気持ちはない。

問 行政改革の一番は合併であると思うが、2市1町の合併を進める気持ちはあるか。

建設水道課長 調査中。結果が分かればお

建設水道課長 被害状況は

建設水道課長 護岸の基礎が露出することはない。

問 災害から学んだ教訓を町民に示して欲しいが。

建設水道課長 護岸の基礎が露出することはない。

問 護岸工事を終えた砥川に堆積した土砂除去も必要。

問 小さな沢が崩れたが、堰堤なども必要では。

建設水道課長 個別に対応する。

町長 庁舎においては実践している。また、観光客に

町長 庁舎においては実践している。また、観光客に

職員が率先して、今からでもできる「あいさつ」、そして一人でも多くの町民に啓蒙してはどうか。

町長 まず私たち議員・役場職員が率先して、今からでもできる「あいさつ」、そして一人でも多くの町民に啓蒙してはどうか。

町長 庁舎においては実践している。また、観光客に

町長 庁舎においては実践している。また、観光客に

町長 庁舎においては実践している。また、観光客に

町の取り組み状況は。教育こども課長 毎年、7月・11月に下諏訪駅で関係機関と共に、あいさつを通じた街頭啓発を行っている。継続的に実施していきたい。地域見守り隊により、あいさつ・声掛けをしている。

問 政府も再生エネルギー

問 政府も再生エネルギー

教育長 学校などの依頼で、安全上、先端の枝払いをした。今後も安全確保する。社中では開校時に望めた諏訪湖が今は見えない。枝払いなどをしている。

問 北小の杉を切ったのは。

教育長 学校などの依頼で、安全上、先端の枝払いをした。今後も安全確保する。社中では開校時に望めた諏訪湖が今は見えない。枝払いなどをしている。

建設水道課長 町屋敷は町、向陽高校は県が、安定度調査を今年度中に行う。

問 各地で盛土災害が出ている。町屋敷と向陽高校の盛り土調査の進捗は。

建設水道課長 町屋敷は町、向陽高校は県が、安定度調査を今年度中に行う。

問 SDGsの各課の取り組み状況は。

問 SDGsの各課の取り組み状況は。



地域見守り隊での活動

あいさつすれば町のファンになってくれることと思う。

議している。

産業振興課長 注連掛に大社のトイレが竣工。樋橋の公会所横には、地権者と協議している。

問 R142号線沿いのトイレ設置は。

産業振興課長 注連掛に大社のトイレが竣工。樋橋の公会所横には、地権者と協議している。

住環境課長 県が蓄電池とソーラーのセットに上限20万円、蓄電池のみに上限15万円補助。町は公会所での設置に補助。

問 R142号線沿いのトイレ設置は。

住環境課長 県が蓄電池とソーラーのセットに上限20万円、蓄電池のみに上限15万円補助。町は公会所での設置に補助。

を増やすため政策を変更した。CO2削減のため、町も補助をできないか。

町長 町民へは、町の総合計画にSDGsを活用していくことでPRしていく。

町長 町民へは、町の総合計画にSDGsを活用していくことでPRしていく。

町長 町民へは、町の総合計画にSDGsを活用していくことでPRしていく。

問 地域社会における個人一人一人の変革を促すにはSDGsを活用することが一番だと思うが、町全体に投げかけ、広めていく考えはあるか。

町長 町民へは、町の総合計画にSDGsを活用していくことでPRしていく。

問 地域社会における個人一人一人の変革を促すにはSDGsを活用することが一番だと思うが、町全体に投げかけ、広めていく考えはあるか。

町長 町民へは、町の総合計画にSDGsを活用していくことでPRしていく。

総務課長 職員研修を10月中に実施したい。R4年R6年の実施計画を作っていくきたい。

黒曜石への取組みで
長和町と連携を



中村 光良

共同プロモーション
の実施



町長

問 今年度も後半を迎えるが、黒曜石をテーマにした行事計画はどうか。
産業振興課長 諏訪大社や「矢の根や」を見学した後「星ヶ塔遺跡」を見学するツアーを5回計画している。テレビ放送の影響もあり、キャンセル待ちが出るほどの人気となっている。
問 長和町に「矢の根や」と同様な施設がオープンした。ライバル関係を避け、相互連携を構築すべきだ。
町長 長和町と連携した観

障がい者福祉推進
都市宣言を広域で



青木 利子

各自治体・議員の
状況を聞く



町長

問 社会の構造が、健常者を基本とした仕組みになっているため、障がいがある人にとって健常者と平等でなければならぬ社会活動に、不合理な点がある。町は障がいのある人に優しいまちづくりを推進しているが。
町長 私の公約でもある。基本的なバリアフリーを政策に取り組んでいるのは勿論だが、ハード面や、ソフト面の心のバリアフリーを目指し、全ての方々が平等



星ヶ塔ミュージアム矢の根や

光体験プログラム開催へ調整している。下諏訪町を発着点に、両町の施設を巡り、黒曜石を使った体験プログラムを検討。

で快適に暮らせるまちづくりに取り組む。
問 第9次高齢者福祉計画策定時に実施したアンケートに寄せられた意見の内容は。
保健福祉課長 認知症予防や介護サービスの充実、理解がある地域づくりを進める声、自宅生活を継続するためのサービスを求める声などがあつた。
問 現在、諏訪市が宣言している、「障がい者福祉推進都市宣言」を、広域で提

一般質問

近隣宿場町との連携を
問 中山道の宿場町として和田宿から奈良井宿あたりまで観光客に足をのぼして頂けるよう、相互連携を構築することを期待しているが。
産業振興課長 来年の御柱祭を契機とした連携について模索するとともに、町の魅力や特徴を生かしたこれまでの活動が継続的な事業に展開できるか検討したい。



現在の町の宣言

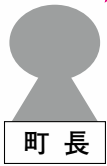
火災警報器の状況
問 火災警報器設置義務化から10年が経過し、期限が案しては。
町長 各自治体・議員の考えやタイミングをみながら。

災害備蓄品のリストを
問 8月の豪雨災害時での避難所の様子はどうか。
総務課長 町体育館はテレビがなく、最新情報を望む声や不安の声があつたので、防災ラジオを追加した。
問 避難所などに備蓄品リストがある有効では。
総務課長 現在のリストは見直しが必要と考えている。出来るだけ早く手直しして町内各避難所の備蓄品箱に備えたいと考えている。

切れるものもあるが高齢者宅への補助の状況は。
保健福祉課長 70歳以上の一人暮らしには現物支給。65歳以上の一人暮らしで、火の管理に不安のある人には火災警報器購入を補助している。

バリアフリーのまちづくり
現状と課題は

指摘には
その都度対応



町長



金井 敬子

諏訪湖環境の改善に
ついての対策は

魚類増殖事業の
支援がある



産業振興課長



樽川 信仁

町長 今後庁内チームを編成しての点検・巡視・課題の洗い出し・解決を図っていく。直ちに解決できないものもあるが、時間をかけてでもやっていきたい。

問 現在の公共施設や公道が、障がいのある方含め実際に利用される側から見てどうなのかを、定期的・継続的・客観的に点検・検証することが重要ではないか。一定期間を経るごとに、課題の洗い出しと対策検討をすべきでは。

問 外来魚駆除対策には。



「みなさん
なるべく食べましょう!」

問 魚類増殖支援の方法は。産業振興課長 昨年は漁協に70万円の補助金を出した。

問 役場窓口等に、聞こえを改善する、「耳につけない卓上型対話支援システム」の導入は、いかがか。保健福祉課長 検討したが、周囲に声が聞こえてしまう

問 以前求めた、補聴器に対する補助制度の調査・検討は。保健福祉課長 特に国の動きがない。県内で補助する自治体はあるが、「加齢」への対応には、老眼鏡や杖などもあてはまるので、情報を得ていく。

問 平日の災害対策の課題。

保健福祉課長 年に10回の定例会を通して、細かい内容を話し合っている。

問 各区への対策や工夫は。保健福祉課長 各区に違いはあるが、町内会や民生委員の協力も得て、それぞれに対応している。

産業振興課長 こちらも30万円の補助金を出した。高齢化の課題について

問 お盆の豪雨時、町からの情報発信の遅さや内容の不充分さを感じ、早急の改善を求めたい。今回の豪雨における情報発信を、どう振り返るか。総務課長 情報確認作業に時間がかり、人手不足もあり、遅さがあったことは

問 以前の窓口には、そのぐわな。職員提案のあった、音声認識で文字を伝えるタブレットを導入していく。的確な情報発信を

問 若年層対策の方法は。建設水道課長 広報誌を発行し情報発信を促している

保健福祉課長 地元にいる消防団員・防災士等の協力を得て対処していきたい。

問 防災意識日本一の方策は。町長 自助が第一である。その意識を一人一人が持つて、共助・公助を進めていくことが最も大事なことから考える。

総務課長 何度でも説明していく覚悟である。人を集めていただくければ出向く。

町ホームページ「災害対策仕様」トップページ



否めない。ホームページの「災害対策仕様」への切り替えには操作上のネックが確認されたので、直ちに改善していく。

問 観光ルートの目玉は。産業振興課長 観光振興局を中心に、町の商品を活用し、稼げる下諏訪町を目指していく。

問 早期着工の手立ては。町長 住民の不信不満を払拭するための丁寧な説明会を開き、多くの賛同を得て事業を進めていきたい。

観光振興の取り組み

町の配信メールに込めた
町長の思いは



中山 透

レベル5を
理解してほしい

町長

教育長 小学校低学年は、教科書のQRコードや写真を撮って提出。高学年は、タイピング・チャットを使用。中学生はパワーポイントやアンケートを作成。

問 活用状況は。

教育長 現状、校内利用が中心。準備が整えば持ち帰りを行っている。

問 児童・生徒のタブレット活用状況は。

教育長 現状、校内利用が中心。準備が整えば持ち帰りを行っている。

問 夏休み中のタブレットの活用は。

教育長 現状、校内利用が中心。準備が整えば持ち帰りを行っている。

GIGAスクール

核兵器禁止条約参加
についての見解は



増沢 昌明

平和首長会議の
動向に従う

町長

保健福祉課長 10月上旬までにワクチンの接種対象者の8割弱に相当する供給量がある見込みである。

問 ワクチン接種などコロナ感染拡大防止対策は。

教育長 自治体別データはない。町村を経由しないことから。

問 持続化給付金支給申請と不給付の状況は。

産業振興課長 法人200万円・個人100万円の給付を受けるもので、2月15日で終了したが、申請数や不給付数については、県市町村を経由しないことから自治体別データはない。

問 国は全国の学校に抗原検査キット80万回分を配布したが、当町では。

教育長 9月中旬には70回分届くので各校に配布し、緊急の場合に使用する予定である。

問 子どもたちは「禁止とという言葉の海」に投げ込まれている。このような時に大切にすることは。

教育長 子どもたちの頑張りや意欲を認めながら、関わり方を考えていく時期だ。子どもたちはみんな元気で。

安心・安全なまちづくり

教育長 臨時休校時や、9月に入ってから状況を見て検討していく。

問 今後のタブレットの持ち帰りは。

教育長 臨時休校時や、9月に入ってから状況を見て検討していく。

問 タブレット使用の課題は。

教育長 周辺整備・持ち帰り用の予備充電器等が課題。

問 教員の技能習得は。

教育長 厳しいとの声もあるが、担当の先生等を中心に、技能習得を行っている。

問 新型コロナの影響による学校行事の中止は。

教育長 今のところ中止はない。代替行事になった時は思い出に残る様にした。

問 町内在住の教職員の感染が報道されたが、町の対応は。

教育長 町内在住の教職員の感染が報道されたが、町の対応は。

問 気象警報発信の違いは。

総務課長 現在市町村単位で発令している。当町は気



広島原爆ドーム

必ず乗り切ってくれる。

問 中断している広島体験研修等に代わる平和研修は。

教育長 中学校では映像な

問 「グランドデザイン策定事業」は、これまでの「街なみ環境整備事業」とどう違うのか。

町長 現在進めている事業の延長として、秋宮周辺のエリアを20年先のまちづくりに考えを及ぼせていくための事業である。

問 子どもの為に保育士を。

町長 適切に採用していく。

どで平和学習の時間に学習している。小学校では千羽鶴折りをして、「原爆の子の像」に奉納する予定。その時、「禎子さん」に関する資料を配布。

象災害が少ないことも要因。現地確認しながら小規模なものも報告している。

職員採用について



議会掲示板

議会が行った活動を掲載します。

区長との懇談会 8/3

「開かれた議会」を目指す行動として、区長の皆さんとの懇談会を実施し、各区の課題をお聞きしました。

- ★災害時の高齢者の支援について、ほぼすべての区長さんから「重要課題ととらえているが、個人情報立ちばかり、難しい」との意見が出されました。
- ★役員のなり手不足に対し、報酬の増額なども検討課題との意見も。
- ★コロナ禍での区政運営の困難も語られました。



コロナ感染予防対策をとっての懇談を実施

大雨災害時

町議会災害支援本部設置 8/15

8月の大雨災害の際、下諏訪町の災害対策本部設置に伴い、下諏訪町議会としても災害支援本部を設置しました。本部役員は、部長の議長その他、副議長、議会運営委員会、2常任委員会の委員長、計5人です。

支援本部設置にあたり、各議員の安否確認を行い、地域の情報収集や避難所での要望等を支援本部に集中するよう通達。また、庁舎に参集し本部設置を決定した後、本部役員は2班に別れて町内の被災箇所での情報収集と、避難所での要望等を確認し、町の災害対策本部へ連絡。また各委員会ごとに、情報共有をしました。

情報教育の功罪は

手書きの学習を
心掛ける



教育長



大橋 和子

問 学校では、情報教育の功罪をどう考えるか。

教育長 メリットは授業の幅が広がる、プリントの削減になる。しかし、手書きの学習が減るので、読む、書くことを大切にし、手書きの学習も心掛けていく。

問 外国人客に向けての外国語教育についての考えは。

教育長 産業のグローバル化により、英語に慣れ親しむ必要がある。未就学児から英語遊びやゲームで国際感覚を身に付けているので、

外国人との交流を楽しく感じるようになっている。北小ではインターナショナルデイ、南小ではイングリッシュチャレンジデイなどを通して語学力を付けている。中学ではH28年度より海外研修をして英語力を高めている。

問 自ら学び、考え、判断し、発信する、これからの社会教育について。

教育長 持続可能な社会の作り手の育成、未来を切り開く力に結びつく教育を。

問 道徳・倫理についての教育の強化をどう考えるか。

教育長 多様化する子ども達においては、家庭、地域、それぞれの価値観、倫理観の違いでトラブルが起こることがある。子どもに学び、自分を変えよう、ありのままのあなたを大切に。授業を通し、自分がこんな風に生きていきたいという気持ちを持つてほしい。

問 事前合宿受け入れ後の交流や課題をどう考えるか。

町長 多くの町民が選手団

と交流できなかったのは、いたしかたなかった。**教育** **子ども課長** 子ども達をはじめ多くの笑顔が見られた。



伊とアルゼンチン選手団の展示

好きです しもすわ

「私の故郷しもすわ」



下諏訪町木遣保存会 副事務局

武居 晶子

下諏訪町に生まれ育った私はこの町が大好きです。毎年恒例のお舟祭り、そして、7年に1度の勇壮

な御柱祭。地域の方々が一丸となって行うこの祭に、子供の頃から木遣り衆として参加してきました。

また、高校時代ボート部に所属していた経験から、今でも仲間たちと一緒に早朝より諏訪湖に漕ぎ出し、汗を流しながら楽しい時間を過ごしています。お天気が良ければ対岸に見える雄大な富士山にはいつも励まされています。

そんな文化や歩んできた歴史、そして豊かな自然を、下諏訪町の未来を担う子供たちへと繋いでいきたいと思っています。

来年はいよいよ御柱祭です。

新型コロナウイルスによるパンデミックの終息の兆しは未だ見えてきません。

一日も早く終息しますように…。

そしてまた地域の皆様と一緒に楽しいお祭りが開催できますように…心から願っております。

議長のつづやき アスリートからの メッセージ



議長 森 安夫

東京2020オリンピック・パラリンピックは厳しいコロナ禍で開催されました。私はスポーツの大ファンで、今大会もスポーツの持つ潜在的な力を改めて認識しました。孫と観戦の約束をし、かなりの高額の観戦チケットを申し込みましたが、1枚も当りませんでした。結局ほとんどの種目が無観客で開催され、同じ結果となりました。様々な意見の中で開催された東京2020オリ・パラですが、アスリートの目線で考えますと、本番に向け一直線で人生をかけて取り組んで来たわけで、勝敗はともかく、この大会がなければ選手の多くはかなり空虚な思いをされます。彼らを支えてきた関係者やファンも同様です。パラリンピックは過剰なテレビ放映と

編集後記

最後の編集後記までご覧頂き、ありがとうございました。

今号から、モニターさんからの提案を受けて、一般質問の答弁を誰が言っていたかわかるように記載しました。

書いている議員が解つていても、読んでもみなさんにわからなければ、意味がない、「お！モニターさんの指摘は適切」と、勉強

- 委員長 金井敬子
- 副委員長 中山 透
- 委員 樽川信仁
- 委員 増沢昌明
- 委員 青木利子
- 委員 大橋和子

広報特別委員会

させていただきました。

議員は2つの耳、1つの口を持っていきます（当たり前だけど）。しゃべるより、聞くことが大事

だと、改めて、確認しました。（中山）

スケルトボールのRUIの大ファンになりました。NBAの八村塁選手ではなく、女子バスケットボールの銀メダルに貢献した町田瑠唯選手です。

表紙の写真いかがでしたでしょうか？ 前号で募集した表紙写真にご応募頂き、誠にありがとうございました。引き続き「私の好きな下諏訪」をテーマに、募集しています。次号は12月定例会後の発行です。多くの作品をお待ちしています。みんなに教えたいとっておきの場所、教えてください。 広報特別委員会